

日々の会話はもちろん、絵本やマンガや音楽、キャラクター名やマーケティング、教育や医療福祉まで、さまざまな場面で用いられるオノマトペ。そこには、人間のからだや、音韻構造、意味や比喩をめぐる能力や歴史など、言語活動を支え規定している。たろう諸要素を多角的に捉えていくための契機がまつている。

本特集では、オノマトペをめぐる研究、ならびに詩歌をはじめとする実践や批評を通じて、言語表現の根幹と最新のすがたを同時に探る。その先には、現在用いられている「日本語」を絶対のものとして、また「書き言葉」のみを「文学」とすることもない、柔軟かつ広大なフィールドがあるはずだ。